

おうみはちまん

議会だより

2024
(令和6年)

第60号

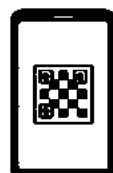
9月1日発行



【西の湖の夕日】

今号の主な内容

- 2～3 ◆特集 総務常任委員会のアンケートについて
- 4 ◆4月臨時会の概要・正副議長就任挨拶
- 5 ◆委員会名簿
- 6～16 ◆6月定例会の概要・個人質問
- 16～17 ◆常任委員会審査報告
- 18 ◆表彰状伝達式・沖島小学校議場見学・
令和5年度政務活動費収支報告書
- 19 ◆議員紹介・広報広聴委員会について・編集後記
- 20 ◆提出議案と議決結果一覧・お知らせ



二次元バーコード（個人
質問ページ）で本会議で
の質問の様子をご覧いた
だけます

について報告します



【高齢化と負担感について】

- ◎自治会活動は大切だと考えているが、現実には住民の高齢化が進み、役員の引き受け手が減っている。できるだけ役員の負担を軽減して継続できることを目指している。
- ◎高齢化、介護などによる役員辞退者の増加による不満などが大きな問題で、自治会消滅の危機すら感じる。
- ◎今年度は、役員全員がスマートフォンを持っていて、LINEやメールで連絡が即座に取れて急な事態にも対応できた。

【自治会加入・必要性について】

- ◎自治会という運営が今の時代に合わなくなってきた。過去からの、今までやってきたからやめられないことが多すぎる。本当に必要なことなのか見極めることが大切である。
- ◎退会希望者を説得する資料（自治会のメリットとは？）があれば欲しい。
- ◎災害などを含めて地域の力が必要なことは増えていると感じる。



自由記述回答から（抜粋）

【今後の取組に向けて】

- ◎今後自治会ありきの行政は限界が来るとされる。20代～30代の若い人の自治会活動への関心が非常に低く感じる。
- ◎災害時に大切な共助の精神を養うよう、自治会事業をしていけばよいと思う。また、子どもたちを含めた取組も必要ではないか。
- ◎今後、若い担い手による気概を持った人材による運営、継続的視点に立った組織的・体系的運営が必要ではないか。報酬を含めたリーダー及びメンバーの育成が必要＝やり甲斐のある仕事にしたい！

【行政に対する要望等について】

- ◎行政側も、自治会加入への呼びかけをもっと積極的にやってほしい。
- ◎若い人が集落から出ていってしまい、高齢者ばかりになってしまっている。若い人が定着するよう、行政に工夫してもらいたい。
- ◎防災設備に関しても、ゴミ処理問題に関しても、もっと行政の後ろ盾が必要と感じる。



総務常任委員会の今後の取り組みについて

- 高齢化等に対応し、自治会加入を推進し成果を上げている先進地の取組から学びます。
- 高校生世代等、若年層が自治会運営に関わっている市町の事例から学びます。
- 2年間の調査研究をまとめ、これから求められる自治会運営について考察します。



Q7 デジタル化（LINE、SNS等）の取組について。取組内容【複数回答可】

- ▶ 役員間連絡
- ▶ 自治会員への案内
- ▶ 災害時の情報伝達



【総務常任委員会 編集後記】

これまでの常任委員会の調査研究は、先進事例の視察研修が主となっていましたが、この「地域コミュニティの現状と課題」の研究については、市まちづくり協働課へも参加をお願いし、会議でグループワーク等を実施するなど、今までにない取組をしてきました。今回のアンケート調査では自治会長の皆様にはお忙しい中ご協力をいただき、改めてお礼申し上げます。今後、この調査結果をもとに、取組を進めることで考察を深め、自治会活動の課題が少しでも解決できるようにしたいと思います。

総務常任委員会委員長 岡田 彦士



総務常任委員会

自治会運営に関するアンケート調査結果

昨今、地域コミュニティ、特に自治会では、高齢者の見守りや防災組織の強化など地域の力が試されている一方で、自治会への加入率の低下や役員の担い手不足も深刻な問題となっています。

そこで、総務常任委員会では、これらの問題について、令和5年度と令和6年度の2年間でテーマを「地域コミュニティの現状と課題」として調査研究を行っています。

その中で、自治会運営の負担が役員の一極集中していることが一つの要因ではないかと考え、自治会運営に係る課題（仕事の負担等）を明らかにするため、令和6年2月から3月にかけて各学区の自治会長会議に何うなどし、各自治会長を対象にアンケート調査を実施しました。今回はその集計結果について報告します。

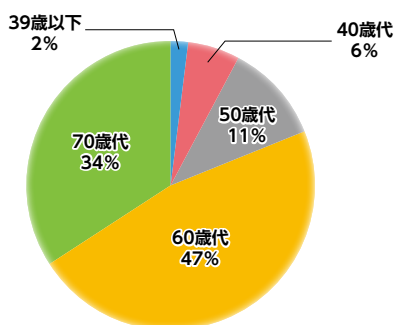
自治会数**170件**中(R6.2.1現在)

回収数**150件**

回収率 **88.2%**

Q1

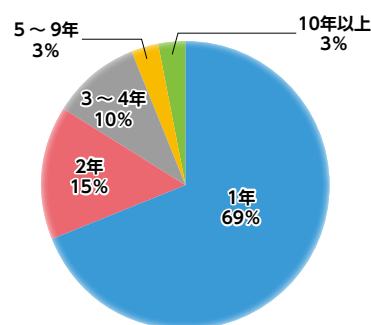
年齢について



●60歳代・70歳代の方が8割以上を占めている

Q2

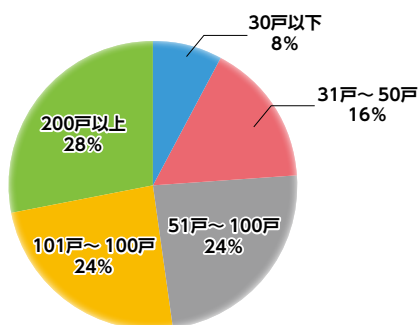
自治会長の経験年齢(通算)について



●自治会長が1年で交代しているところが7割ある

Q3

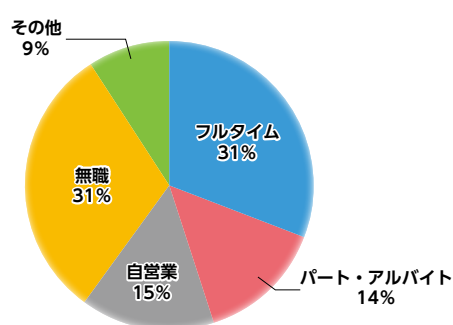
自治会の戸数について



●100戸以上の自治会数は10年前と比べて減少している

Q4

お仕事(お勤め)について



●6割の方が仕事を持ちながら自治会長を務められている

Q5

大変だったこと【複数回答可】

- ▶ 行事の準備・実施
- ▶ 仕事や日程の調整
- ▶ 事務的な仕事の多さ・住民の参加率の低下
- ▶ 来年度の役員選出
- ▶ 役員との連携・人間関係づくり

Q6

自治会活動において、どのような人材がいたら、もっと活発な活動・スムーズな運営ができると思いますか。

【複数回答可】

- ▶ 機動力のある若い人
- ▶ 情報発信の得意な人・パソコンに堪能な人
- ▶ 女性の役員・自治会長の経験者

アンケート調査にご協力いただきました自治会長のみなさまありがとうございました。

4月臨時会の概要

令和6年第1回（4月）市議会臨時会を4月26日に開きました。

開会後、当局から専決処分の承認議案2件のほか、低所得者支援及び定額減税補足給付事業などを計上した予算議案1件、人事議案1件の、計4件が上程され、提案理由の説明が行われました。続いて、上程された議案について質疑を行った後、専決処分の1件を含む予算議案2件は予算常任委員会に、専決処分のうち条例議案1件は総務常任委員会に付託され、各常任委員会で審査を行いました。本会議再開後、各委員長からの審査報告があり、採決の結果、市長提出議案は原案どおり承認および可決されました。

この臨時会では、議長選挙および副議長選挙を行い、投票の結果、第15代議長に辻正隆議員が、副議長に大川恒彦議員が当選されました。また、東近江行政組合議会議員の選任同意や、議会運営委員会、各常任委員会の委員の一部変更があり、それぞれの委員会で新たな体制となりました。

その後、市長から人事議案1件「近江八幡市監査委員の選任につき同意を求めることについて」が追加上程され、監査委員に南祐輔議員を選任同意しました。

*各委員会等の委員は5ページをご覧ください。

議長就任のご挨拶

辻 正 隆



去る4月26日に開催されました第1回臨時会におきまして、市議会議長に就任をさせていただきます。辻正隆でございます。

大変、身の引き締まる思いとともに、あらためて、その重責を感じておるところでございます。微力ではございますが、これまでの近江八幡市議会の歴史と伝統を踏まえながら、引き続き、円滑な議会運営に邁進させていただきたいと存じております。

さて、今年に入り、特に新年度を迎え、祭りなどの地域の行事の再開や観光客の方々の増加など、目にする中においても、コロナ禍から、正常化された日常生活を取り戻しつつあります。そのような中、5月から市庁舎の建設工事も始まり、また、この新たな一歩から広がるまちの形成に期待するところです。

しかしながら、依然として、社会経済活動は大変厳しい状況の中にあり、市民の皆様は、日々の暮らしに大きな不安を抱えながら生活されていると存じます。

市議会といたしましても、市民の皆様が安心して暮らしていただけるよう全力を尽くしてまいります。

また加えて、頻発する大規模地震や気候変動による水害や土砂災害などへの備えや超高齢社会に伴う医療・福祉の在り方、少子化対策など、スピード感をもって取り組むべき重要な課題が

山積しております。

このような状況の中、市民の代表としての意思決定機関であります地方議会が果たすべき役割と責任は、今後ますます重要になってまいります。

議長の職を預からせていただく以上、近江八幡市議会基本条例の趣旨のもと、公平・公正かつ円滑な議会運営に努め、市民福祉の向上と市政発展のために、誠心誠意、市民の皆様の期待と信頼に応えていく所存でございます。

今後とも、皆さま方の格別のご指導とご理解ご協力をお願い申し上げます、就任あいさつとさせていただきます。

副議長就任のご挨拶 大川 恒彦



この度、市議会副議長に就任させていただきました。大川恒彦でございます。

今後は、議長の補佐役として、副議長の職務を遂行するとともに市政の推進と議会の公正かつ円滑な運営に努めてまいります。

引き続きまして、二元代表制の一翼を担う議会として、監視機能や政策立案機能などの向上に努め、市民に身近で、開かれた議会を目指してまいりますので、市民の皆さま方の温かいご指導、ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

市議会に設置されている各委員会の委員と
一部事務組合議会の議員の構成は以下のとおりです。

職 名	氏名（ ◎：委員長 ○：副委員長 ）
議 長	辻 正 隆
副 議 長	大 川 恒 彦
監査委員	南 祐 輔
議会運営委員会 委員	◎沖 茂樹 ○松村 務 中塚 理恵 藤村健造 森原 陽子 小西はげむ
予算常任委員会 委員	◎道下 直樹 ○藤村 健造 ※委員は全議員（委員長・副委員長のみ記載）
総務常任委員会 委員	◎岡田 彦士 ○久郷 定彦 中塚 理恵 松村 務 三上 英夫 玉木 弘子 小西はげむ
教育厚生常任委員会 委員	◎山本 英夫 ○青木 勝治 藤村 健造 道下 直樹 山本 妙子 森原 陽子 小川 広司
産業建設常任委員会 委員	◎竹尾 耕児 ○間宮 泰樹 南 祐輔 山元 聡子 沖 茂樹 大川 恒彦
市庁舎整備等 特別委員会委員	◎小川 広司 ○三上 英夫 間宮 泰樹 久郷 定彦 中塚 理恵 松村 務 道下 直樹 山元 聡子 大川 恒彦 森原 陽子 竹尾 耕児
東近江行政組合 議会議員	間宮 泰樹 久郷 定彦 青木 勝治 中塚 理恵 小西はげむ

6月定例会の概要

令和6年第2回（6月）市議定例会を6月6日から6月27日までの22日間の会期で開きました。

6月6日の開会日には、諸般の報告として、議長報告のほか、監査委員報告及び市長報告の後、市長提出議案として「令和6年度近江八幡市一般会計補正予算（第2号）」の予算議案1件、条例議案5件、その他議案1件の合計7議案が上程されました。その中の「文化会館改修工事請負契約の締結につき議決を求めることについて」が総務常任委員会に付託され、即日採決を行い全員賛成で可決しました。

その後、議案熟読の期間を経て再開された6月17日には、議員提出議案として、意見書2件、決議書1件が上程されました。同日6月17日から3日間で個人質問を行い、19名の議員が議案質疑や市政全般に対する質問を行いました。上程された議案および意見書は、予算・総務・教育厚生各常任委

員会に付託され、後日開催した各常任委員会で当局から議案に対する詳細な説明を求め審査を行いました。

27日の閉会日には、総務常任委員長から閉会中の所管事務調査について継続審査を行いたい旨の申し出があり、この申し出のとおり決しました。

各常任委員会の審査報告の後、討論・採決を行い、本定例会に当局から提案された議案については、全ての議案を可決しました。

なお、議員提出議案の意見書2件および決議書1件については、賛成少数で否決しました。

また同日、追加議案があり、市長提出議案として「令和6年度近江八幡市一般会計補正予算（第3号）」の予算議案1件、人事議案4件と、議員提出議案1件の合計6議案が上程されました。いずれの議案も賛成多数、および全員賛成で可決・同意となりました。

【 6 月 定 例 会 の 詳 細 日 程 】

6月

- 6日（開会）
 - ・諸般の報告
 - 議長報告、監査報告、市長報告
 - ・議案の上程（提案理由説明）
 - 議第64号～70号
 - ・質疑、討論、採決
- 17日
 - ・議案の上程（提案理由説明）
 - 会第6号～8号
 - ・個人質問
- 18日
 - ・個人質問
- 19日
 - ・個人質問
 - ・質疑
 - ・委員会付託
- 20日
 - ・予算常任委員会

- 21日
 - ・総務常任委員会
- 24日
 - ・教育厚生常任委員会
- 27日（閉会）
 - ・諸般の報告
 - 報第9号
 - ・市庁舎整備等特別委員会の付議事項の追加
 - ・委員会の閉会中の継続審査
 - ・委員会審査報告
 - ・討論・採決
 - ・議案の上程（提案理由説明）
 - 議第71号～75号、会第9号
 - ・質疑
 - ・委員会付託
 - ・委員会審査報告
 - ・討論・採決
 - （議第71号～75号、会第9号）

個人質問



政翔会

小川 広司

自治会等から各種委員会への推薦について



問 令和6年の各種団体や委員会などへの委員の推薦は、一覧表の通り、市連合自治会からは30項目（1表）、学区まちづくり協議会からは22項目（2表）です。各学区の会長一人に3項目ほど割り充てられています。「第2期近江八幡市市民自治基本計画」の中では、地域活動の参画について自治会への加入率低下などが記載されています。そして自治会役員の負担を軽減することも述べておられますが、現行30件、22件のように思っていますか。

答 総合政策部長

自治会をはじめとする地域自治組織においては、役員の担い手不足に加え、委員就任を含めた行政からの依頼事項の増加が、負担感増加の要因の一つとなっており、解決すべき課題であると認識しています。

今後、委員会の目的や趣旨をふまえて、地域自治組織の代表として学区自治連合会長や学区まちづくり協議会会長が委員として就任する意義、役割や必要性等を庁内で精査するとともに、委員の効果的な参画方法についても検討してまいりたいと考えております。

「その他の質疑・質問」

- ① 上水道の重要管路更新について
- ② 令和6年度市政運営の基本方針から産業基盤の強化について

令和6年度近江八幡市連合自治会から各種組織・団体等への役員・委員の推薦一覧

項目	推薦先	推薦人数
1	近江八幡市連合自治会	30人
2	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
3	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
4	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
5	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
6	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
7	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
8	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
9	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
10	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
11	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
12	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
13	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
14	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
15	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
16	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
17	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
18	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
19	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
20	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
21	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
22	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
23	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
24	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
25	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
26	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
27	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
28	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
29	近江八幡市連合自治会（学区）	30人
30	近江八幡市連合自治会（学区）	30人

令和6年度まちづくり協議会各種団体や委員会等への委員の推薦一覧

項目	推薦先	推薦人数
1	近江八幡市まちづくり協議会	22人
2	近江八幡市まちづくり協議会（学区）	22人
3	近江八幡市まちづくり協議会（学区）	22人
4	近江八幡市まちづくり協議会（学区）	22人
5	近江八幡市まちづくり協議会（学区）	22人
6	近江八幡市まちづくり協議会（学区）	22人
7	近江八幡市まちづくり協議会（学区）	22人
8	近江八幡市まちづくり協議会（学区）	22人
9	近江八幡市まちづくり協議会（学区）	22人
10	近江八幡市まちづくり協議会（学区）	22人
11	近江八幡市まちづくり協議会（学区）	22人
12	近江八幡市まちづくり協議会（学区）	22人
13	近江八幡市まちづくり協議会（学区）	22人
14	近江八幡市まちづくり協議会（学区）	22人
15	近江八幡市まちづくり協議会（学区）	22人
16	近江八幡市まちづくり協議会（学区）	22人
17	近江八幡市まちづくり協議会（学区）	22人
18	近江八幡市まちづくり協議会（学区）	22人
19	近江八幡市まちづくり協議会（学区）	22人
20	近江八幡市まちづくり協議会（学区）	22人
21	近江八幡市まちづくり協議会（学区）	22人
22	近江八幡市まちづくり協議会（学区）	22人

個人質問



凜成会

山元 聡子

本市のまちづくり（都市基盤整備）について



問 先般、新たに作成された人がつながり未来をつむぐ『ふるさと近江八幡』近江八幡市第1次総合計画2024～2028の後期基本計画の中の今回は主に都市基盤整備のまちづくりを中心に質問をさせていただきま

① 計画的な土地利用の推進について

② 道路整備と維持管理について、前期5年間の事業評価と後期の今後5年間でどのような取組をし、実現しようとしていくのか具体的な取組方針についてお尋ねします。

答 総合政策部長、都市整備部長

① 総合計画に掲げる将来のまちの姿の実現を目指し、既存の土地と調和のとれた適切な規制・誘導などに努めています。総合計画後期基本計画に示す現状・課題を踏まえ、今年度、国土利用計画の改定を行うとともに個別計画の見直しを行い、市全体の土地利用の方向

「その他の質疑・質問」

- ① オープンガバナンス手法を活用した官庁街ビジョンについて
- ② 接遇について
- ③ 傍聴について



性を示していきたいと考えています。

② 平成28年4月策定の「近江八幡市道路整備アクションプログラム」における達成率は、前期計画の目標値を大きく下回る14%となっています。

今後目指す取組方針では、令和6年度、7年度の2箇年において、「近江八幡市道路網マスタープラン」並びに「近江八幡市道路整備アクションプログラム」の見直しを予定しています。

個人質問



創政会

北里学区内の

地域要望について

大川 恒彦



問 北里学区内の施設整備で、学区民の念願であります北里コミュニティエリア整備ですが、

『自治連合会』および『まちづくり協議会』連名によります要望書のとおり、市当局側からは移転新築・一体型整備とする回答書をいただいていることから、現在における取り組み状況および協議内容はどのように進んでいるのか。

答 次に北里学区認定こども園施設整備ですが、現在の施設整備の進捗具合および事業取組、また、今後の予定についてはどのような状況なのか。

答 総合政策部長、子ども健康部長 北里コミュニティエリア整備については、今後、地元で検討委員会が設置され議論が深まっていけるものと認識しております。幅広く住民の皆様の意見を取り入れるためのワークショップを実施するなど、地元と行政で協働による取組を加速していきたい

と考えております。

北里学区認定こども園整備については、改修工事実施設計を進めてきた中で、令和6年度内の工事完了が見込めず、令和7年4月の開園が困難な状況となっております。保育を必要とする保護者の方々にはご心配をおかけすることになりますが、早期開園を目指し努めてまいります。



「その他の質疑・質問」

- ① 避難所の諸課題対策について
- ② 行政窓口の市民対応について

個人質問



チームはちまん

日本語教育の推進について

竹尾 耕児



問 現在近江八幡市に居住されている外国籍の方の中で最も多いのはベトナム人となっています。他にも中国やブラジル、東南アジア諸国の方などが住まれています。背景には就労ビザの改正などがあり、家族を呼んで一緒に暮らすことを望まれる方もいます。『日本語教育推進法』でも「地方自治体は必要な施策を実施していきましよう」との要旨が書かれています。本市の日本語教育推進についての考え方をお尋ねします。

答 総合政策部長

市内では、ボランティアにより、3つの日本語教室が開講されており、公益財団法人近江八幡市国際協会が運営の一部を支援しています。

本市の日本語教室は、日本語学習の場であると同時に、地域住民と外国人住民がつながる場や、居場所としても有効であり、地域における多文化共生を推進

していくうえでも意義のあるものと考えております。

すべての住民の皆様が活躍できる多文化共生のまちづくりを推進するために、外国人住民のニーズや課題等を踏まえ、引き続き、近江八幡市国際協会と連携し、各団体の活動に協力してまいります。



「その他の質疑・質問」

- ① 市営住宅のこれからについて

個人質問



日本共産党

玉木弘子

高齢者の移動支援について



問 交通は移動の確保だけでなく、人との交流や買い物、医療など地域で住み続けるうえで必要な基本的な人権です。自治体は、暮らしとこのちを守る地域の交通権を保証する責務があります。安土福祉自動車は、利用者から「ひとりで生きていく上でどうしても残してほしい」と切実な声があり、3月議会で継続を求めました。

①福祉自動車について、利用状況と意見

②地域密着移動支援事業と福祉自動車との一体化は可能ですか。2点について伺いします。

答 市民部長、安土町総合支所長 安土福祉自動車の登録者数は、現在157人で、そのうち4月、5月の利用者は延べ32人です。利用者からは、「病院へ行くのに、助かっている」「料金が多少高くなっても継続して欲しい」という意見がある一方、地域密着移

動手段確保事業の利用者からは、「今まで行けなかった医療機関や大型スーパーに行けて助かっている」「自宅玄関前から乗り降りできるので嬉しい」とのご意見があります。地域密着移動手段確保事業は、各学区まちづくり協議会との協議を踏まえて、地域の互助を土台として事業を構築しており、今後は、市全体での取り組みとなるよう、一体化に向けて各学区に地域密着移動手段確保事業を推進してまいります。



「その他の質疑・質問」

- ①市立総合医療センターの医療安全体制について
- ②安土コミュニティエリア整備事業について

個人質問



日本共産党

森原陽子

大阪・関西万博への児童の校外学習について



問 万博開催予定地の夢洲で、今年3月22日ガス爆発が起こりました。土壌の産業廃棄物や浚渫土砂から常時メタンガスが発生しているためです。また夢洲へのアクセスは橋1本とトンネルだけで、未だ災害時の避難計画はありません。三日月知事は、4歳から18歳まで18万人の児童生徒を万博に招待するとしています。市は、夢洲の危険な状況について知らされていますか。万博への招待について、どのように考えていますか。

答 教育長

大阪・関西万博の会場建設現場における事故については、新聞報道等により承知しています。が、主催者からは知らされていません。他の校外学習と同様に、安全を確保したうえで、児童生徒が、世界の様々な文化や技術に触れ、自身のこれからの生き方を考えるきっかけを得られる万博の教育的効果を検討す

るよう各校に伝えていきます。教育委員会として、大阪・関西万博の公式ホームページや滋賀県総合企画部万博推進室に確認するとともに、オンライン説明会に参加し、未確定の事柄については質問を行う等して、児童生徒の安全を最優先に大阪・関西万博への校外学習について、各校と慎重に協議を重ねてまいります。



「その他の質疑・質問」

- ①運動公園野球場整備の追加工事について
- ②介護について
- ③産業振興事業について
- ④北里学区のコミセン整備等の諸問題について

個人質問



創政会

安田全男
まさお

所信等について

三上英夫



問 教育長は、市内校園所長会の席で、「地域に根差した本市固有の教育行政を推進していきたい」、また「子どもたちの魂を揺さぶる教育とともに実践したい」と抱負を述べておられます。

そこで、この「本市固有の教育行政」とはどのような教育行政と捉えておられるのか、また「魂を揺さぶる教育」とは具体的にどのような教育なのかについて伺います。

答 教育長

地域の人々に支えられながら実施できる地域学習は、子どもたちにとって生きる力を涵養する近江八幡市ならではの唯一無二の教育であります。また、富士宮市との夫婦都市交流事業での非日常の感動体験は本市固有のものであり、両市の子どもの生きる力が共に育成される大変貴重な教育機会となっております。こうしたことを念頭に「本市固有の教育行政」と申

し上げました。

「魂を揺さぶる教育」とは、子どもたちの深い感動体験を体系的に重ねていくことで生き抜く力を涵養するための教育であると考えます。



【富士宮市近江八幡市児童交歓会】

「その他の質疑・質問」

- ① 老人クラブ活動等助成事業補助金の拡充について
- ② 公園・道路に関する工事予定について

個人質問



育政会

八幡学区の

背割り排水について

青木勝治



問 八幡堀に繋がる背割り排水の2か月に一度の清掃は、高齢化の中、危険作業の重労働で本当に限界です。

まずは、市が、水路毎に、どこから流入し、水量や堆積物の種類や量、藻の繁茂状況、水路幅等の構造状況等の実態調査を行い、現状と課題をしっかりとデータ把握する事が不可欠です。その上で、関係自治会と意見交換等を行い、地元住民との合意形成を図り、対策と優先順位を計画に定め、迅速かつ確実に取り組む事が肝要と考えますが、如何ですか。

答 都市整備部長

少子高齢化は、ますます加速するものと思われ、その様な中での持続可能な維持管理手法を構築することは大きな課題であり、自助・共助・公助の役割を踏まえながら検討してまいりますので、今後無理のない範囲において引き続き清掃活動へのご協力をお願いします。

課題解決には、背割り排水路における現状の水路断面及び構造等の実態調査、流域調査が必要であると認識しています。

しかしながら、検討範囲が広域になることから、調査手法の構築が先決と考えており、合理的かつ効率的な調査となるよう検討してまいります。



「その他の質疑・質問」

1. 第9期近江八幡市総合介護計画について
- ① 地域包括支援センター直営復帰による質の担保について
- ② 権利擁護の推進について
- ③ 介護相談員の活動支援について
3. 市として取り組むべき課題解決への提案について
- ① 物流問題と宅配ボックス設置による配達抑制支援について
- ② 障がい者も楽しめる文化会館について
- ③ インクルーシブ公園・遊具について

個人質問



創政会

安土駅周辺の 放置自転車対策について

間宮 泰樹



問 安土駅は、篠原駅とともに整備され駅周辺の環境は以前に比べ安全で利用しやすくなっています。

しかし市条例で規定する自転車等放置禁止区域であり、かつ民間の駐輪場があるにも関わらず多くの放置自転車が見受けられ、歩行者の通行や緊急車両の妨げ、自転車盗難を助長するなど生活環境に悪影響をもたらします。

放置自転車の状況、啓発や撤去までの流れ、また鉄道事業者との放置自転車対策の連携について伺います。

答 市民部長

篠原駅、近江八幡駅南口、安土駅北口駅前ロータリーに放置自転車はほとんどなく、近江八幡駅北口、安土駅南口には時折自転車等が放置されています。自転車等放置禁止区域ではありませんが、安土駅北口の西側階段横の鉄道事業者敷地に10台以上

の自転車が駐輪されています。

啓発時には、放置自転車に期日を指定した警告シールを貼付け、指定期日に再度、有無を確認します。自転車が放置されれば速やかに撤去し、標示板に撤去した日付を記入しています。

鉄道事業者と連携しながら、看板設置や侵入防止策などを、それぞれが実施できる対策を協議します。



【安土駅北口】

「その他の質疑・質問」
①空き家対策について

個人質問



創政会

下水道について

南 祐輔



問 なぜ市全域で下水道整備をしないのか、整備済みかどうかで汚水処理にかかる経済的負担が公平でない、との声をよく聞きます。

①どういう理由・経緯で下水道を市内全域に普及しないことになったのですか。

②滋賀県の人口密度は全国でも上位で下水道を整備する方が有利な土地柄に思えますが、県では浄化槽も進めています。この辺りの下水道と浄化槽の整備の進め方についてはいかがお考えですか。

答 水道事業所長

①平成3年頃より防災対策上有効と言われる合併処理浄化槽と農業集落排水処理施設、下水道の3形態で整備・推進することとし、平成7年度からは合併処理浄化槽の面的整備事業にも着手し、生活排水対策を推進してきました。

②市単位としてみると人口密度

は中位です。「滋賀県汚水処理施設整備構想」では、汚水処理3形態での効率的な整備と運営管理を目指すこととしており、滋賀県の汚水処理人口普及率は、全国で2番目と高い値となっています。これまで通り市街地から離れた集落では、合併処理浄化槽等での整備が合理的であると考えています。



「その他の質疑・質問」
①認知症対策について

個人質問



公明党

中塚理恵

学校での取り組みについて



問 近年の気温上昇による熱中症の危険が増す中、昨年の滋賀県の実地での熱中症の発症率が全国平均より2倍以上ありました。熱中症対策について学校での取組を質問いたします。

- ① 昨年の小中学校での救急搬送人員数と、熱中症の症状を訴えた児童生徒数は、又それらはどのような活動時に起きたのですか
- ② 水筒への水分補充は学校で可能ですか
- ③ 体育館にエアコンを設置するお考えはありますか
- ④ ミストシャワーを設置するお考えはありますか

答

教育長
① 熱中症の疑いのある頭痛や吐き気等の訴えが約2400件ありました。救急搬送は4件ありました。小学校は、運動中ではありませんが、熱中症を疑って救急搬送したところ、体調不良によるものでした。

中学校は、運動中によるものでした。

② 児童生徒の体調を見ながら、水分の補充等の対応をしています。

③ 空調機器のシステム方式や財源等について情報収集を行い、熱中症対策に向けたエアコン設置の検討に取り組んでいます。

④ 学びの環境を保障するためにも、移動可能なミストファンの購入について早急に検討します。



「その他の質疑・質問」

① 熱中症特別警戒アラート発表時に向けての対応について

② 公共施設に給水機を設置について

③ 公園にミストシャワーの設置について

個人質問



政翔会

沖 茂樹

近江八幡市の行政改革について



問 ① 近江八幡市にとっての行政改革とは何を目的に行うものですか。

② 今後は事務事業評価から施策評価へと評価手法を変更するということですが、その理由を教えてください。

③ それぞれの補助金について、担当課に定期的な検証と見直しを指示しておられますか。

④ 近江八幡市で市民提案型（参加型）の予算編成を導入するとしたら、どのような形が適しているとお考えでしょうか。また、その導入により、どのような効果を期待されますか。

答

総務部長

① ② ③ 総合政策部 理事、

① 「効率的・効果的な行政経営の推進と市民サービスの向上」「持続可能な財政運営の確立」といった総合計画における施策の実現、未来に繋がる自治体経営を目的に行っています。

② 個々の事業成果だけでなく、

総合計画に位置付ける各施策の達成に向けた取組となっているかを、俯瞰的に評価するためです。

③ 新年度予算案作成時期に全庁的に見直しを実施しています。

④ 現在、実施自治体の情報収集の段階であり、本市で導入する場合、どのような形が適しているのか、期待できる効果を含め、導入の可能性等を研究・検討してまいります。



個人質問



育政会

松村 務

朝ドラ「ヴォーリス」と満喜子さんを誘致を



問 ヴォーリスさんと満喜子さんの功績は、わがまちが誇れる地域資源です。ヴォーリス夫妻の生涯を、朝ドラで半年間テレビ放映することができれば、地域の魅力を発信する究極のシティープロモーションになります。

答 誘致に向けた市民レベルの盛り上がりをつくるうえでも、市長が旗振り役となって、NHKにトップセールスしていただけないでしょうか。

市長 本市に多大な功績を残されたヴォーリス氏と妻の満喜子氏の生涯は、朝ドラの主演、ストーリーに相応しいものと考えます。本年は、ヴォーリス氏没後60年、来年は来日120年の節目に当たり、関連するNPO法人や市民団体等が、この節目をきっかけとして、ヴォーリス夫妻の功績を積極的に発信するべく、様々な活動を展開されています。

市としては、こうしたヴォーリス夫妻に対する市民の熱意を集集され、民間を中心とした誘致に向けた活動を進めていただけるのであれば、市も積極的な支援に努めてまいりたいと考えます。



【ヴォーリス夫妻】

個人質問



創政会

小西はげむ

「滋賀県立びわ湖フローティングスクール」について



問 「フローティングスクール」への移動手段である送迎バスについて、市内小学校で特別支援学級（肢体不自由児）在籍の児童がいるため特製の車椅子を乗車させられるリフト付きバスが必要のため、県教育委員会の担当者にお問い合わせたところ、「バス会社との契約の関係でリフト付きバスに変更できない。通常のバスの他に福祉タクシーを手配する事は可能である」と言われました。「別の車を用意する」その発想がインクルーシブ教育の考えからして如何なものか、教育長のお考えは？

答 教育長

障がいのある子も障がいのない子も、共に学び、交流する機会は大変重要であると捉えています。フローティングスクールをはじめ、校外学習でのバスの中での交流も大切な学びの時間であると考えます。なお、リフト付きバスの対応



「その他の質疑・質問」

- ① 「定額減税について」
- ② 医療関係者の働き方改革について
- ③ 「市職員の時間外勤務」について

個人質問



創政会

安土城築城

450年こけい

岡田 彦士



問 本市は一年半後、令和8年に行われる安土城築城450年を祝うため様々なイベント等を計画されておられることと思います。安土城が築城開始されたのは天正4年（1576年）と言われていることから令和8年（2026年）は節目の年となりオール八幡体制で、安土城築城450年を盛大に行うことが本市に課せられた命題あると思うところであります。また、

行政と市民が一体となって盛り上げを出来るかが焦点であります。当局の安土城築城450年における意気込みについて伺います。

い、その後、関係各課等と今後の取組について協議・検討を行ったところです。

今後は、令和8年度の安土城築城450年に向けて実行委員会を立ち上げ、機運醸成を図るとともに、PRに取り組み、地元をはじめオール近江八幡として一体となった令和の時代に適合した取組となるよう連携を図っていきたいと考えております。

答 安土町総合支所長

令和4年12月に「安土城築城450年協議会」を設立し、令和6年1月の協議会では、メインテーマや活動方針、事業計画等の方向性が示されました。現在、協議会事務局（一社）近江八幡観光物産協会）と協議を行



「その他の質疑・質問」

①安土学区の未来づくりについて

②モザンビーク国との国際交流事業について

③来訪者用の案内アプリの開発について

個人質問



公明党

山本 妙子

デジタル化を通し
誰も取り残さない社会を！



問 精神障害者保健福祉手帳の更新は2年ごとですが、その更新のお知らせはありません。県の管轄により県が認定を行います。市は窓口となり申請の受付や結果の通知・発送を行っています。更新をし忘れ、その間の控除が受けられず課税となり、また医療費の限度額が増額するなど多くの人がお困りになるケースがありました。13市のうち、更新のお知らせを実施しているのは4市。デジタル化が叫ばれる今こそ、システムの構築・導入をお考え下さい。

答 福祉保険部長

精神障害者保健福祉手帳は、2年ごとに精神障がい状態にあることを県知事に認定を受ける必要がありますが、法令での通知の定めがなく、また、県からデータ提供もなく、更新手続きの通知は行っていないです。

しかしながら、県内の4市では行っており、本市と同じ「お

障がい者手帳の
お知らせが届きます



「その他の質疑・質問」

①放課後児童クラブについて

②居住支援を一步前に！

うみ自治体クラウド」に加入している市のシステムの活用方法や対象者の確認方法等を参考に、令和7年4月末期限の方から更新のお知らせを行います。

また、併せて滋賀県に精神障害者保健福祉手帳所持者のデータ提供を要望していきます。

個人質問



政翔会

防災・減災・緊急事態
対応について

久郷 定彦



問 今後、急速に進展する道路施設の老朽化対策や、防災機能を確保できる防災公園整備は、中長期的かつ明確な見通しの下で継続的、安定的に強靱化を推進できるような必要な予算、財源を確保して市民の生命や財産を守る為、総合的かつ計画的な防災対策を進めることが重要と考えますが、本市の対応をお答えください。

答 都市整備部長・危機管理監

道路施設等の定期点検は、日常の道路パトロールにおいて実施しており、また地域の方々からの通報や地元要望等により、出来る限り早期の補修対応に努めています。橋梁部では、令和4年度に「橋梁長寿命化修繕計画」の見直しを行い、毎年70橋前後、外部委託による点検を実施し、継続監視に努めています。防災公園の整備については、市民病院跡地の活用の検討に併せ、一時避難場所や火災時の延

焼防止、受援時の駐車場確保等、これまでの災害事案を参考に必要な機能を想定し、防災機能を備え持つ公園整備の検討を進めたいと考えます。



個人質問



創政会

改良住宅（2戸1）の
譲渡について

藤村 健造



問 2戸1住宅は最初の建築から約55年が経ち住宅の老朽化等が進んでいます。平成22年に近江八幡市改良住宅2戸1譲渡基本方針が策定され、譲渡を推奨されています。

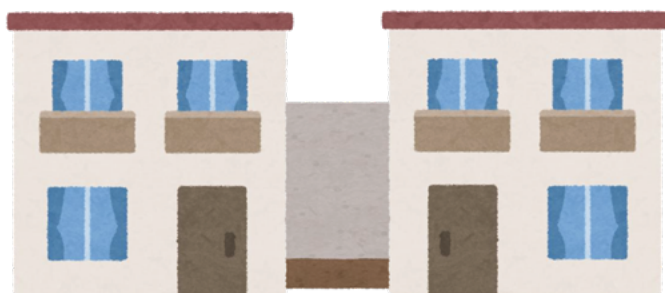
また、市営住宅マスタープランにも譲渡についての方針が示されています。延長後、令和4年度までを計画期間としていた市営住宅マスタープランと、市営住宅長寿命化計画について、今年度見直し予定はありますか。

答 都市整備部理事

市営住宅マスタープランは、市営住宅の現況や将来的な需要見通しを踏まえて、施設の維持管理方針や今後の運営について中長期的な計画を示すもので、今年度中の見直しを行いたいと考えております。

また、市営住宅長寿命化計画は、計画的な修繕・改善により市営住宅の長寿命化を図るもので、計画期間は、平成30年度の

第1回変更から10年間ですが、上位計画である市営住宅マスタープランに合わせ、必要に応じて第2回変更を行います。



「その他の質疑・質問」
①末広墓地霊園（瓶割山）斜面整備について

個人質問



創政会

こどもまんなか社会

実現に向けて

道下直樹



問 新生児は生後8ヶ月まで体温調節が難しく、各家庭での室温対策を行わなくてはなりません。そのためにはクーラーや暖房器具などの使用が必須となつておりますが、現在非常に電気代や燃料費が高くなっております。

真夏や真冬は一日中使用すると費用がさらにかさみます。特に真夏のこれからの時期は熱中症や脱水などが生死に関わるため、市として電気代や燃料等の支援ができないでしょうかお問い合わせします。

答 子ども健康部長

物価高騰に対する支援は、国の施策として「住民税非課税世帯・低所得世帯に対する給付金」「定額減税」等の実施、また、子育て支援として「児童手当」「児童扶養手当」等を実施しています。さらに、市の独自事業として「医療費無償化」「おむつおとどけみまもり便」等を実施しています。

ます。

0歳から18歳までの児童期において、各ライフステージで固有の経費がかさむ状況にあり、公的支援としては、限られた財源の中で、総合的な判断により支援を実施しており、現時点では「0歳児家庭への燃料費の支援」について実施する予定はございません。



「その他の質疑・質問」

①GO!GO!LAKES!!滋賀レイクスと共に近江八幡市を活性化

予算常任委員会審査報告

委員長 道下 直樹

予算常任委員会は6月20日及び27日に委員会を開催し、『議第64号 令和6年度近江八幡市一般会計補正予算(第2号)』『議第71号 令和6年度近江八幡市一般会計補正予算(第3号)』の2件について審査しました。採決の結果、議第64号は賛成多数で原案を可決、議第71号は全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

『審査過程における主な意見・討論』

『議第64号 令和6年度近江八幡市一般会計補正予算(第2号)』について、「商工業振興事業について、目的はいいが、タイミングと説明の整合性があるのかどうか懸念される。また、実績から2社が補助対象となると見込んでいると回答があったが、多くの企業の参入を求めているとの回答もされ、全てに対してはぐはぐである。必要な事業であるのは理解できるが、制度の構想としてはいかがなものかと思われるため、諸手を挙げての賛成は難しい」との意見。



「製造・加工業者を増やすことは大切だが、目的と予算計上が拙速に作られた感じと否めない。今後も続けていく事業であるならば、要綱などを整理し、来年度の当初予算で提案することによって制度として位置づくと考えるため、拙速な提案は見送ってもらいたい」との反対の討論。

総務常任委員会審査報告

委員長 岡田 彦士

総務常任委員会は、6月定例会で付託された諸案件を審査するため、6月6日及び6月21日に委員会を開催し、当局に対し詳細な説明を求め、また、意見

書については、提出議員に対し説明を求め、議案質疑などを行い審査しました。

○6月6日

その他議案について、議第70号は、全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

○6月21日

条例議案について、議第65号は全員賛成で、議第68号は賛成多数で原案を可決すべきものと決しました。

次に、議員提出議案について、会第8号は、賛成少数で原案を否決すべきものと決しました。

『審査過程における主な意見・討論』

議第68号について、「国の医療費抑制政策が背景にあることは



理解したが、保険診療は国民皆保険制度の中で守られてきたものであり、その中で一部自己負担という自由診療が入る点については納得しかねるため、本条例の改正については反対する」との反対討論。

会第8号について、「歴史的な背景もあり、多くの国や国際機関はパレスチナとイスラエルの二か国間の解決、双方が独立国家として共存する解決策を支持している」と仄聞している。双方に責任があり、双方が和平に向けて努力する必要がある。一方的な非難は問題の根本的な解決に寄与しないと考える。一方的な停戦要求ではなく、現実的かつ実行可能な解決策を提案するべきと考えることから本決議には反対する」との反対討論。

教育厚生常任委員会審査報告

委員長 山本 英夫

教育厚生常任委員会は、6月定例会において付託された諸案件を審査するため、6月24日に委員会を開催し、当委員会に付託された議案について、当局に



対し詳細な説明を求め、また、意見書については提出議員に対し概要説明を求め、議案審議などを行い審査しました。

条例議案について、議第66号、議第67号、議第69号の3件は、全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

また、意見書の会第6号、会第7号は、賛成少数で原案を否決すべきものと決しました。

『審査過程における主な意見』

議第66号について、「児童福祉法の改正は2年前であり、所管課だけでなく、迅速かつ適正に法規担当の総務課と併せて遅延防止対策等を考えて条例改正に

取り組んでもらいたい」との意見。

議第67号について、「診療所へくる方に対して、診療内容だけでなく診療所へ来る手段等も検討・把握してもらいたい。また、沖島診療所は医師会から派遣され、医師会の負担が問われているが、武佐診療所は医療センターから派遣となっている。市全体として診療所を見直すためにも武佐診療所を随時検証する必要がある」との意見。

議第69号について、「利用者が少なく、現状からすれば廃止の考えが出てくるのはやむを得ないが、市として全体で公平に共通議論をする場で案を挙げて、方向性が見えてから廃止の案が出てくるのが順序として正しいのではと考える。また、施設の今後の利活用を早急に検討してもらいたい」との意見。



全国市議会議長会からの感謝状の 伝達式が行われました

6月定例会の開会日の冒頭に伝達式を行いました。全国市議会議長会より、産業経済委員会委員として会務運営にあたり多大なる貢献をされたことから、岡田彦士議員に感謝状が贈られました。



小学生の議場見学会を 行いました

市議会のはたらきについて学習するために、令和6年7月1日に沖島小学校3年生3名が本会議場を見学されました。

児童のみなさんは、議長席・執行部席・傍聴席など本会議場内部を見学した後、議員席に着席して、議会事務局から市議会の役割について説明を受けました。

その後、児童からの質問を事務局が答弁席から回答するといった、本会議と同じような形式での質疑応答を行いました。



令和5年度（令和5年4月～令和6年3月） 政務活動費収支報告

会 派 名	創政会 (8名)	政翔会 (4名)	育政会 (2名)	公明党 (2名)	日本共産党 (2名)	近江八幡維新の会 (1名→0名)	チームはちまん (1名)	ひむれクラブ (1名)	凜成会 (1名)
会派代表者	小西はげむ	沖 茂樹	松村 務	山本 妙子	森原 陽子	福永 義洋	竹尾 耕児	山本 英夫	山元 聡子
経理責任者	南 祐輔	久郷 定彦	青木 勝治	中塚 理恵	玉木 弘子	福永 義洋	竹尾 耕児	山本 英夫	山元 聡子
交付決定額	1,760,000	880,000	440,000	440,000	440,000	220,000	220,000	220,000	220,000
収入合計額①	1,760,007	880,004	440,001	440,001	440,000	100,000	220,000	220,000	220,000
調査研究費		212,028						200,224	
研 修 費	696,094								
広 報 費	702,927	294,800			440,000		180,000		220,000
広 聴 費									
要請・陳情活動費	26,020	37,880	78,826						
会 議 費									
資料作成費	96,747		94,495						
資料購入費			76,904					20,330	
人 件 費									
事 務 所 費									
支出合計額②	1,521,788	544,708	250,225	0	440,000	0	180,000	220,554	220,000
返還額(①-②)	238,219	335,296	189,776	440,001	0	100,000	40,000	- 554	0

収入合計額 ①：交付額に預託利息等が発生した場合は、当該①に含めています。

返還額(①-②)：収入合計額①よりも支出合計額②が大きい場合は、返還額はありません。(差額は自己負担)

※各会派所属議員数は、年度内に会派異動による人数の増減が生じた会派についても、令和6年3月31日現在での人数を記載しています。そのため、所属人数が同数の会派でも会派異動の時期及び人数によって交付額は異なります。また、各会派の所属議員は、ホームページの市議会議員名簿に掲載しています。

市議会議員紹介 Vol. 5

クローズアップ

市民のみなさんに市議会議員をより身近に感じていただきたいとの思いから、議席番号順に全議員をシリーズで紹介しています。

おき しげ き 沖 茂樹



- Q①近江八幡市のお気に入りスポットは？ 岡山園地の浜からのぞむ山々と沖島の姿
- Q②自己（あなた）のキャッチフレーズは？ これまでも、これから『ずっと近江八幡!』
- Q③議員になって何をしたいですか？ 子ども、高齢者、障がい者と彼らを支える人々が相互に助け合う自立したまちづくり
- Q④議員に必要なもの3つ 市民感覚 決断力 責任感
- Q⑤あなたの熱い思いを一言 単なる伝言係ではなく市民の声を施策に仕上げて提言できる議員を目指します。



おお かわ つね ひこ 大川 恒彦

- Q①近江八幡市のお気に入りスポットは？ 佐波江浜から見る琵琶湖と春は日野川堤防の桜並木
- Q②自己（あなた）のキャッチフレーズは？ 単純明快、元気で明るく、気さくな代弁者
- Q③議員になって何をしたいですか？ 活力に満ちた、心豊かなまちづくり!!
- Q④議員に必要なもの3つ 志・心・気
- Q⑤あなたの熱い思いを一言 初心を忘れず、過去に感謝。そして、未来に奉仕。そのためには、現在を真面目に一生懸命、しっかりと努めることが使命である。

もり はら よう こ 森原 陽子



- Q①近江八幡市のお気に入りスポットは？ 比良連山を望む北里の田んぼ、琵琶湖の水辺、市内をめぐるあかこんパス
- Q②自己（あなた）のキャッチフレーズは？ 市民の目線で とことん質問
- Q③議員になって何をしたいですか？ 大きな福祉、公正・公平な市政の実現
- Q④議員に必要なもの3つ 筋を通すこと、共感力、調査力
- Q⑤あなたの熱い思いを一言 平和で一人ひとりが大切にされる社会になるように、がんばります!

編集後記

昨年度改選があり、新たな体制となりました近江八幡市議会は早くも1年が経過しました。新年度が始まり、最初の定例会を終えたところですが、初心を忘れることなく、議会の情報を市民の皆さまにわかりやすく届ける紙面づくりに努めてまいります。また、開かれた議会を目指すうえで、今後におきましても皆様のご意見をお聞かせください。

（広報広聴委員長 大川 恒彦）

<広報広聴委員会>

広報広聴委員会では、議会だより分科会と議会報告会分科会に分かれ、議会だよりの作成と議会報告会の企画運営等を行っています。

◎：委員長 ○：副委員長

◎大川 恒彦	○山本 妙子	久郷 定彦	青木 勝治
道下 直樹	山元 聡子	玉木 弘子	竹尾 耕児
山本 英夫			

<議会改革推進委員会>

議会改革推進委員会では、本会議や委員会の在り方、進め方などについて検討し、議会の質がより向上するように努めています。

◎：委員長 ○：副委員長

◎青木 勝治	○中塚 理恵	間宮 泰樹	道下 直樹
山元 聡子	沖 茂樹	玉木 弘子	竹尾 耕児
岡田 彦士	小川 広司	山本 英夫	
辻 正隆	大川 恒彦		

令和6年第1回(4月)近江八幡市議会臨時会・令和6年第2回(6月)近江八幡市議会定例会に提出された議案と議決結果

賛否の分かれた議案

議案番号	件名	付託委員会	会派	創政会								政翔会				①	②	③	④	⑤	⑥		
			議決結果	間宮泰樹	藤村健造	三上英夫	道下直樹	南祐輔	大川恒彦	岡田彦士	小西はげむ	久郷定彦	沖茂樹	辻正隆	小川広司	松村務	青木勝治	中塚理恵	山本妙子	森原陽子	玉木弘子	竹尾耕児	山本英夫
4月市議会臨時会																							
◇ 条 例																							
議第60号	専決処分の承認を求めることについて	総務	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◇ 予 算																							
議第61号	令和6年度近江八幡市一般会計補正予算(第1号)	予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月市議会定例会																							
◇ 予 算																							
議第64号	令和6年度近江八幡市一般会計補正予算(第2号)	予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◇ 条 例																							
議第68号	近江八幡市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◇ 人 事																							
議第72号	近江八幡市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案																							
会第6号	高等教育の無償化を求める意見書の提出について	教育	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
会第7号	大阪・関西万博に子どもたちを招待しないことを求める意見書の提出について	教育	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
会第8号	国際人道法違反のイスラエルの攻撃を止め、即時停戦を求める決議について	総務	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×

①：育政会 ②：公明党 ③：日本共産党 ④：チームはちまん ⑤：ひむれクラブ ⑥：凜成会
○…賛成 ×…反対 欠…欠席 退…退席 除…除斥 一…議長は採決に加わっていません。

全員一致で承認・可決・同意・採択した議案

議案番号	件名	付託委員会
4月市議会臨時会		
◇ 予 算		
議第59号	専決処分の承認を求めることについて 令和5年度近江八幡市一般会計補正予算(第12号)	予算
◇ 人 事		
議第62号	近江八幡市監査委員の選任につき同意を求めることについて	省略
議第63号	近江八幡市監査委員の選任につき同意を求めることについて	省略
6月市議会定例会		
◇ 予 算		
議第71号	令和6年度近江八幡市一般会計補正予算(第3号)	予算
◇ 条 例		
議第65号	近江八幡市税条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第66号	近江八幡市子ども発達支援センター条例の一部を改正する条例の制定について	教育
議第67号	近江八幡市立診療所条例及び近江八幡市0次予防センター条例の一部を改正する条例の制定について	教育
議第69号	近江八幡市岡山ふれあいセンター条例を廃止する条例の制定について	教育
◇ そ の 他		
議第70号	文化会館改修工事請負契約の締結につき議決を求めることについて	総務
◇ 人 事		
議第73号	小船木財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	省略
議第74号	森尻財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	省略
議第75号	南津田財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	省略
議員提出議案		
会第9号	学校給食費を無償化にするための恒久的な財政措置を求める意見書の提出について	省略

付託委員会欄の「予算」は予算常任委員会、「総務」は総務常任委員会、「教育」は教育厚生常任委員会です。

9月定例会のご案内 令和6年第3回(9月)市議会定例会は、次のような日程で予定しています。それ以外の日は、休会の予定です。

開会日	質問日	委員会	閉会日
8月28日(水)	9月6日(金)、9日(月) 10日(火)	9月10日(火)、11日(水)、12日(木)、 13日(金)、17日(火)、18日(水)	9月20日(金)

皆さまからの議会運営に関するご意見を、メールまたは文書にて、議会事務局までお寄せください。
〒523-8501 近江八幡市桜宮町236番地 Eメール: 020200@city.omihachiman.lg.jp FAX: 0748-36-7101